

情勢報告

25t どりを目指す取組に驚き！「第 1 回ナス品目別現地検討会」の開催



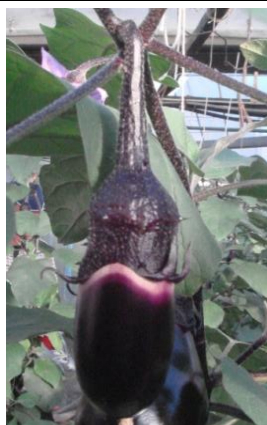
取組概要を熱心に聞く参加者

12月22日、県内ナス生産者39人と関係者25人が芸西村と安芸市の各環境制御技術実証ほ場で現地検討会を開催しました。

農業改良普及課は各実証ほ場での25t どりに向けた「炭酸ガス株元局所施用」「密植」「2本仕立て」などの取組内容とその増収効果などを説明しました。生産者からは「凄い！クリスマス前までに5t も採っちゃうかえ」「炭酸ガス局所施用は効率がよさそうなので来年やってみたい」「確かに2本仕立ては芽吹きが早そう」などの感想が聞かれました。

農業改良普及課は、3月に開催される「第2回ナス品目別現地検討会」でも環境制御技術の有利性を広く周知していきます。

今年を振り返ってこれからの管理を改善！ 奈半利研究会を開催



感 さい 厳
！ い の 寒
の は 期
炭 に 実
酸 の へ
ガ た 切
ス れ
施 が
用 大
効 じ
果 り
だ と
と 大
実

奈半利研究会は12月21日にナスの現地検討会と勉強会を開催しました。生産者8人が参加し、町内のそれぞれのほ場で栽培上工夫していることや病害防除、炭酸ガスの局所施用など、今年新たに取組を始めた技術やこれからの管理について熱心に情報交換しました。

農業改良普及課は環境要因がナスの生育におよぼす影響やクモ類の生態、中芸地区に新たに侵入が確認されたアザミウマ類対策及びフザリウム立枯病対策について情報提供しました。

今後とも現地検討会や勉強会での技術情報の提供等を通じて、研究会活動を支援します。

唐浜集出荷場研究会総合部会の開催



環境制御についての話を熱心に聴く生産者

12月21日、唐浜集出荷場研究会が安田町で総合部会を開催し、現地検討会に7人、勉強会に8人の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、勉強会で環境制御技術や病害虫、農薬に関する情報提供を行いました。生産者からは「湿度はどうコントロールしたらいいのか」「タバコカスミカメはクリバネアザミウマを食べないのか」などの質問があり、活発な意見交換が行われました。

現地検討会でも、生産者から「炭酸ガスを入れると実の太りが良くつやもある」との声が聞かれ、環境制御技術への関心が高まりつつあります。

農業改良普及課は、今後もJAと連携しながら勉強会等での情報提供を通じて部会活動を支援していきます。

情勢報告

芸東集出荷場ピーマン・シシトウ部会現地検討会



「ここは整枝をせんといかん」

12 月 21 日、室戸市内のピーマン農家 5 人とシシトウ農家 4 人が参加して市内で現地検討会が開催されました。

参加者全員のほ場をまわり、農業改良普及課室戸支所は厳寒期に向けての整枝・摘葉や温度管理、新害虫対策について指導しました。チャノキイロアザミウマが管内で初めて発生したこともあり、発生ほ場では資料提供した薬剤のなかで「この薬をやったら効いた」といった実用的な情報交換が農家同士でされました。

今後は農家の技術向上のために農業改良普及課室戸支所から企画提案し、2 月に農業技術センターでの視察研修を行う予定です。

経済・営農担当者が勉強会



勉強会の様子

12 月 24 日、ＪＡ土佐あき奈半利支所で経済・営農担当者勉強会が開催され、7 人が参加しました。

農業改良普及課は、環境制御技術や病虫害、農薬に関する情報を提供しました。経済・営農担当者からは温度管理や農薬に関する質問があり、「ハウス内の状況を知る勉強会があると良い」「環境制御技術導入加速化事業についてもっと巡回して説明するべき」など活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後も勉強会を定期的に行い、ＪＡとの情報共有を図っていきます。

赤野ナス部会が勉強会を開催！ナスの低温障害にご注意！



熱心に講習を聴く生産者

平成 28 年 1 月 19 日、安芸市赤野集出荷場で赤野集出荷場ナス部会の勉強会が開催され、21 人が参加しました。

農業改良普及課は 2 月以降の栽培管理（少量多灌水、夜温の確保、病害対策）の説明のほか、1～2 月のナスの低温障害対策について注意喚起を行いました。

生産者からは「1 月中旬から急に気温が下がってきたので、低温下に置いたらいかん」「輸送中には風がナスに直接当たらないように何か覆いをせないかんね」との声があり、品質を守る意識を高めることが出来ました。

農業改良普及課は、3 月以降の日射量、温度の上昇によるナスの日焼け果やボケ果について対策を部会で周知し、品質向上への支援を行っていきます。

普及活動情勢報告（平成 28 年 1 月分）

安芸農業振興センター

情勢報告

産地の連携強化を目指して、今作も J A と農業改良普及課が合同巡回を実施中！
（J A 土佐あき東支所～北支所管内）



「炭酸ガス施用は芽吹きが良いねえ」

農業改良普及課は J A 土佐あき営農指導課及び支所と連携し、1 月 14 日、15 日に東支所及び北支所管内の施設ほ場 35 か所（内：個人市場出荷者 16 人、内：施設ナス 33 人）を巡回しました。今作では 10 月、11 月に続いて 3 回目の巡回となります。今回、農業改良普及課は、黒枯病やフザリウム立枯病の発生状況の把握や防除対策の周知、今作の気象概況に応じた生育バランス管理、環境制御技術等の情報提供を行いました。

今後も毎月の巡回を目標とし、部会参加が少ない生産者や部会活動のない個人市場出荷者を対象に産地の連携強化を図ります。

今後の農地・農業をどうする？アンケートの結果を報告！～北川村小島地区～



アンケート結果に聴き入る地区住民

北川村小島地区では、耕作放棄地解消など地区の課題解決に向けて、有志 3 人がアンケートを作成し、11 月 6 日に配布（経営主用 18 戸、家族用 12 戸）、11 月 16 日に回収しました。

今後の小島地区の農地に関するアンケートの結果報告会を 12 月 20 日に小島地区集会所で開催し、地区住民 14 人が参加しました。

農業改良普及課は、役場と連携し、アンケートの作成や実施、とりまとめ及び分析について支援し、当日は集落営農の取組を説明しました。

会に参加した住民からは「後日集落営農について詳しい話が聞きたい」「現在はまだ個人で耕作できるが、将来的に組織ができれば任せられることもあるかもしれない」との話があり、今後も地区の中で話し合いを重ねていく方向性が出されました。

農業改良普及課は、今後も集落営農に関心のある集落に対して、組織化に向けた支援をしていきます。

奈半利町百石集落で集落営農アンケート報告会



集落営農について意見交換

1 月 12 日に、奈半利町百石集会所で百石集落の農家 8 人を対象に、奈半利町、J A 土佐あき、農業改良普及課が連携して第 3 回集落営農説明会を開催しました。

11 月末に実施した集落営農に関するアンケートの結果と、今後の取組について検討しました。参加者から「集落の農地の状態は思ったほど悪くなかった」「集落営農組織を早く立ち上げよう」との意見が出され、1 月 19 日に集落営農準備会を開催することになりました。

今後、農業改良普及課は、集落営農準備会で集落ビジョンの作成や組織体制づくりを支援していきます。

情勢報告

労働力実態アンケート調査を実施



「労働力は足りていますか？」
—寒風のなか出荷に来た生産者 1 人 1 人に
聞き取りを行う普及指導員—

農業改良普及課は安芸市のナス農家 187 人に対して J A 土佐あきと連携して郵送と聞き取りで労働力実態アンケート調査を 12 月上旬から 1 月上旬まで実施し、82 人のアンケートを回収しました。

J A 土佐あきでは既に労働力不足に対応するため、無料職業紹介所「J A 土佐あきアグリサポート」を開設していますが、今後の高齢化等に対応した雇用確保に取り組むためアンケート調査を実施しました。安芸集出荷場での聞き取りでは、「アグリサポートを活用している」「高齢になったら規模を縮小するが雇用は必要」等の意見がありました。

今後はアンケート調査結果を分析し、「J A 土佐あきアグリサポート」の活動内容がさらに充実するよう支援していきます。